

第5章 産業・経済 第4節 観光

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した「狭山丘陵観光事業推進実行委員会」の会議に出席し、狭山丘陵における観光を軸とした魅力の向上に連携して取り組む計画を示した「狭山丘陵観光連携プラン」を共同で策定した。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①共同事業への参加回数 ② ③	共同事業の参加回数	H29年度目標	H29実績							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①2回										H30年度目標	H30実績
	狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業	観光立国推進基本法	90千円	2千円	②	R元年度目標	-	-							
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③										
		0.00人	非常勤特別職	実績	H30年度目標									H30実績	
期間	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①2回	2回										
H30～	0.61人	非常勤特別職	0千円	0千円	②										
	5,112千円	臨時職員			③	3回									
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果目標の目標値を達成するだけでなく、モニターツアーやインバウンド戦略調査・研究の実施により、本市におけるインバウンド戦略の現状分析・課題抽出・今後の対応策について精査することができた。今後は、県・近隣市町村及び民間事業者との連携によるプロモーション活動などを進め、外国人観光客の誘致を進めていく。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①外国人留学生等を対象としたモニターツアーの実施回数 ② ③	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計	H29年度目標	H29実績							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①3回										H30年度目標	H30実績
	インバウンド戦略推進事業	特になし	1,100千円	1,100千円	②	R元年度目標	7,700人	-							
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③										
		0.00人	非常勤特別職	0.00人	実績									H30年度目標	H30実績
期間	観光を軸とした新たな魅力とにぎわいを創出し、地域産業全体の活性化を図るため、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や「ところざわサクラタウン」の完成などを捉えた観光振興策の一環として、外国人観光客の誘致及び事業者の受入体制の整備を行う。具体的な取り組み内容としては、外国人留学生等を対象としたモニターツアーの実施、インバウンド戦略の具体的な方策の調査・研究を行う。また、埼玉県外国人観光客誘致推進事業協議会に参加し、「ちよこたび埼玉」等で観光情報等を発信する。併せて、事業者向けのセミナーや意見交換会を実施し、受入体制の向上を図る。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①3回	6,901人										
H30～	0.66人	非常勤特別職	0.00人	②											
	5,531千円	臨時職員		③											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「日仏交流 折り紙ヒコーキ大会」は、平成31年4月に開催予定の記念イベントのプレイベントとして位置付け、日仏の交流を深めるとともに、「航空発祥の地 所沢」を広くPRすることを目的としているため。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①日仏交流 折り紙ヒコーキ大会の開催数 ②実行委員会の開催数 ③市内小学校への出前講座実施回数	日仏交流 折り紙ヒコーキ大会の開催数	H29年度目標	H29実績							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①1回										H30年度目標	H30実績
	フランス航空教育団来日100周年記念イベント開催支援事業	特になし	400千円	400千円	②11回	R元年度目標	-	-							
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③7回										
		0.00人	非常勤特別職	0千円	0千円									実績	H30年度目標
期間	平成31年にフォーール大佐率いるフランス航空教育団が来日して100周年を迎え、先人の功績と偉業を称えとともに、日仏の将来に渡るより一層の友好関係の構築・発展に寄与すべく、また、未来を担う子ども達が夢や希望を持つことが出来るよう、100周年記念イベント等を実施し、これまでの歴史や文化を伝え「航空発祥の地 所沢」を発信するもの。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1回	1回										
H30～	0.56人	非常勤特別職	0千円	0千円	②11回										
	4,693千円	臨時職員		③7回											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取り組みを積極的に行った。一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまったため。引き続き、多くの方に所沢市を訪れ・楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,370千円	2,370千円	①無料バス乗客数 ②所沢民謡まつり参加人数 ③観光パンフレット発行部数	観光入込客数	H29年度目標	H29実績							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①2,371人										H30年度目標	H30実績
	観光振興対策事業	所沢市観光団体補助金交付要綱	2,370千円	2,370千円	②831人	R元年度目標	5,700,000人	-							
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③10,000部										
		0.66人	非常勤特別職	5,600千円	5,600千円									実績	H30年度目標
期間	所沢の魅力市内外に広くPRし、観光客の誘致を図る活動をしている所沢市観光協会に補助をすることにより、市のイメージアップや観光客増加、賑わいの創出、地域の活性化を図っている。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①2,371人	5,600,000人										
S28年度～	0.61人	非常勤特別職	0千円	0千円	②831人										
	5,112千円	臨時職員		③10,000部											

第5章 産業・経済 第4節 観光

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響						
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの						
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	H30年度に改善した点	無	無							
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		8,995千円	8,024千円			①トイレ清掃日数	観光入込客数					平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人の増加を目指す。	新たに18箇所の道標・看板を設置した。					
	観光拠点等施設整備事業	根拠法令		H30予算現額	H30決算額(見込み)			②桜並木ライトアップ日数								H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析		
		観光立国推進基本法		14,110千円	12,379千円			③狭山湖利用駐車場利用台数											6,700,000人	5,527,592人
		事業の目的及び具体的な内容		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合			実績												
	市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場観光トイレ管理 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ ・観光案内版修繕 ・道標修繕	0.29人		非常勤特別職	①310日			6,700,000人								5,527,592人				
		2,461千円		臨時職員	②14日												5,600,000人	集計中		
		H30正規職員人件費		H30その他職員従事割合	③65,728台														R元年度目標	(R1.8月末現在、埼玉県からの入込観光客数の公表がされていない。)
		0.37人		非常勤特別職	5,700,000人															
	3,101千円	臨時職員																		
期間	H7～					評価者	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	インバウンド戦略推進事業とあわせて、外国語へ対応した施設整備の検討が必要。												
								商業観光課長 柳田晃芳												